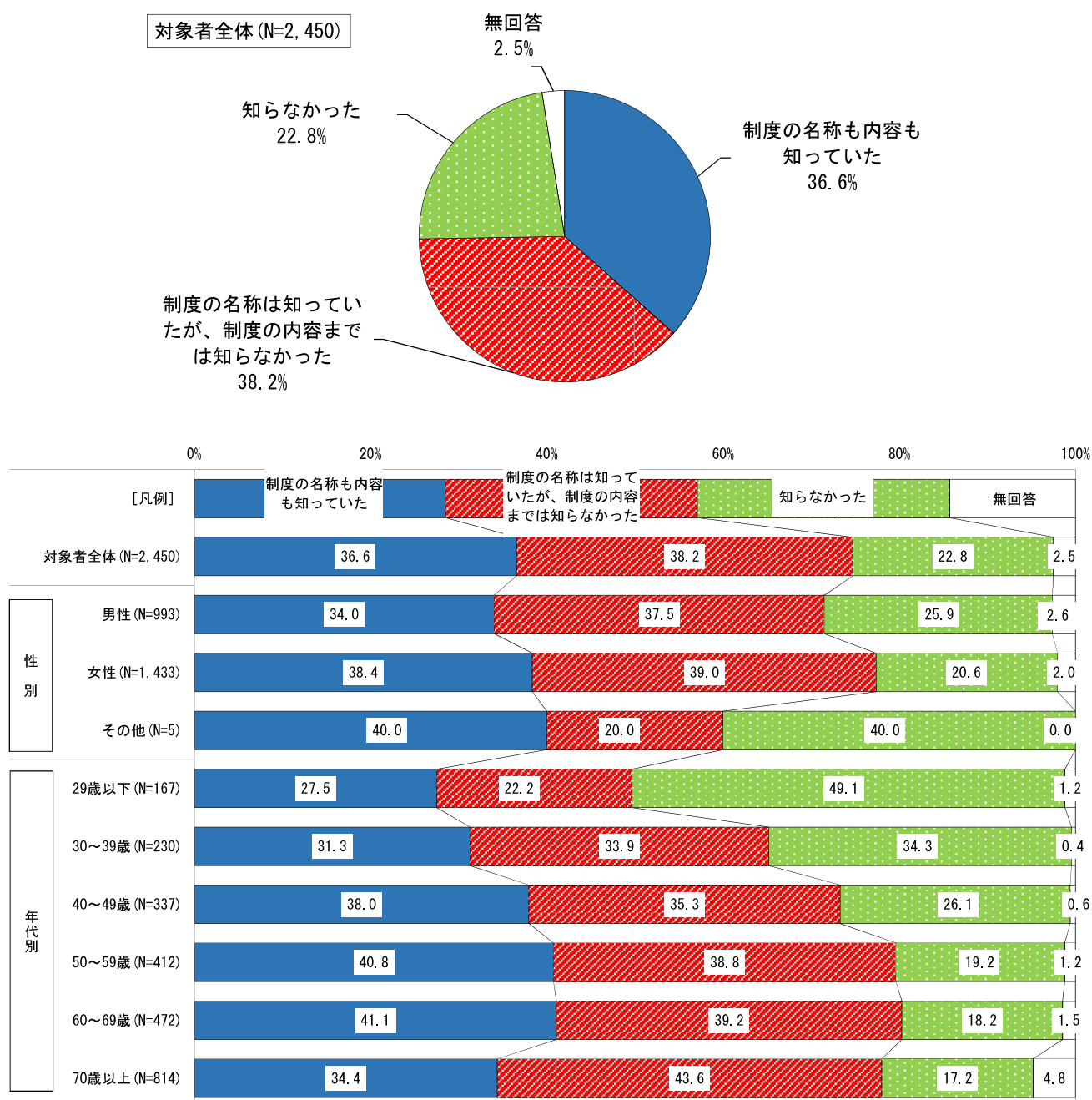


(5)成年後見制度の認知度等について

◇成年後見制度の認知度

問17 あなたは、「成年後見制度」を知っていましたか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

成年後見制度について「制度の名称も知っていた」人は36.6%



【全 体】成年後見制度の認知度は、「制度の名称も内容も知っていた」が36.6%、「制度の名称は知っていたが、制度の内容までは知らなかった」が38.2%、「知らなかった」が22.8%となっている。

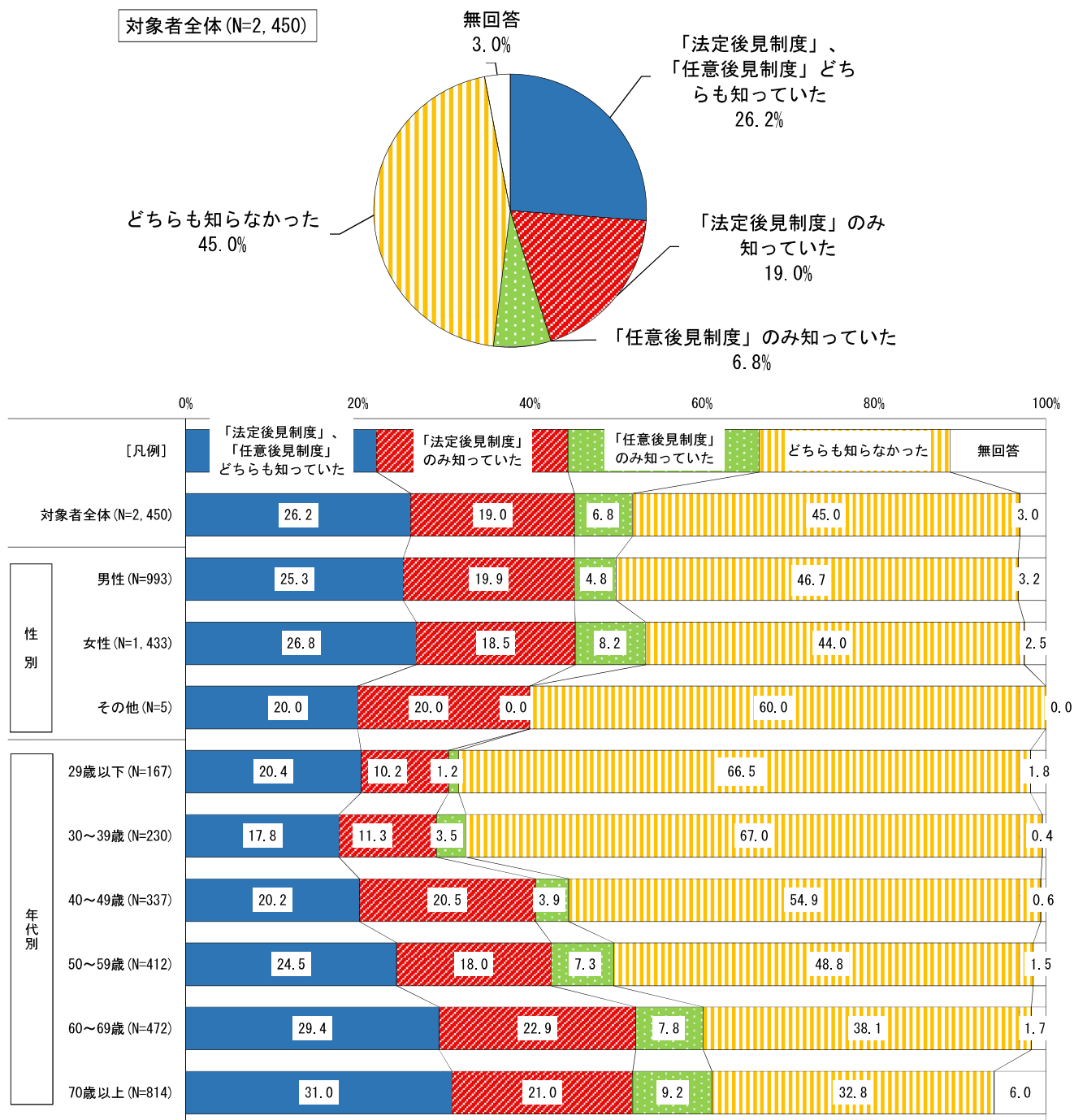
【性 別】「知らなかった」は、男性で25.9%と、女性の20.6%より5.3ポイント高くなっている。

【年代別】「制度の名称は知っていたが、制度の内容までは知らなかった」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。また、「知らなかった」は年代が下がるにつれて割合が高くなっている。

◇「法定後見制度」と「任意後見制度」があることの認知度

問18 あなたは、成年後見制度には「法定後見制度」と「任意後見制度」があることを知っていましたか。
あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

「法定後見制度」、「任意後見制度」をどちらも「知っていた」人は26.2%



【全 体】「法定後見制度」と「任意後見制度」の認知度は、「「法定後見制度」、「任意後見制度」どちらも知っていた」が26.2%、「「法定後見制度」のみ知っていた」が19.0%、「「任意後見制度」のみ知っていた」が6.8%となっている。

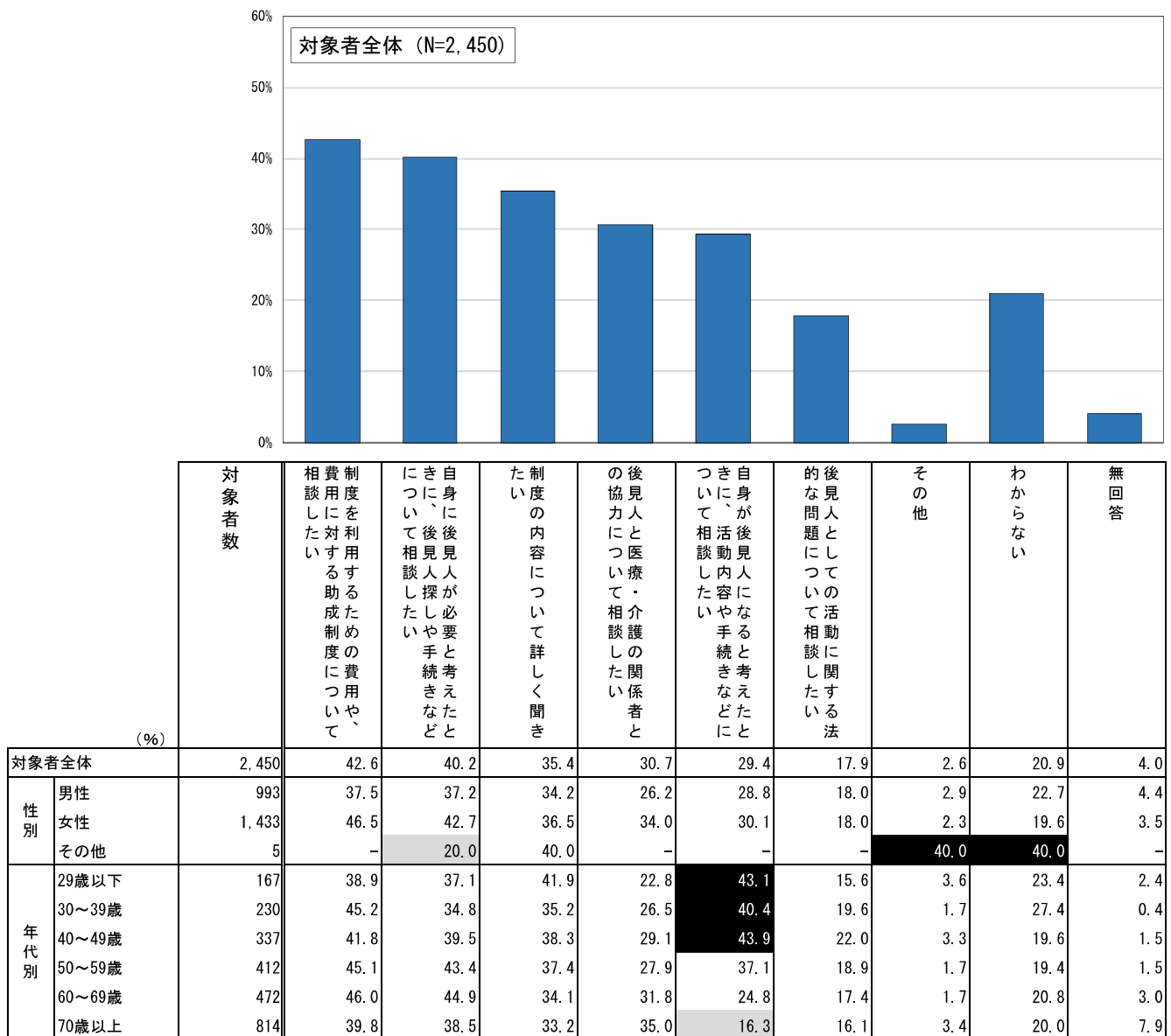
【性 別】男女で大きな差は見られない。

【年代別】「「任意後見制度」のみ知っていた」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

◇窓口で相談したい内容

問19 あなたは、身近に成年後見制度について相談できる窓口があった場合、窓口でどのようなことを相談したいですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

窓口で相談したい内容は、「制度を利用するための費用や、費用に対する助成制度について相談したい」が42.6%



対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】窓口で相談したい内容は、「制度を利用するための費用や、費用に対する助成制度について相談したい」が42.6%、「自身に後見人が必要と考えたときに、後見人探しや手続きなどについて相談したい」が40.2%、「制度の内容について詳しく聞きたい」が35.4%となっている。

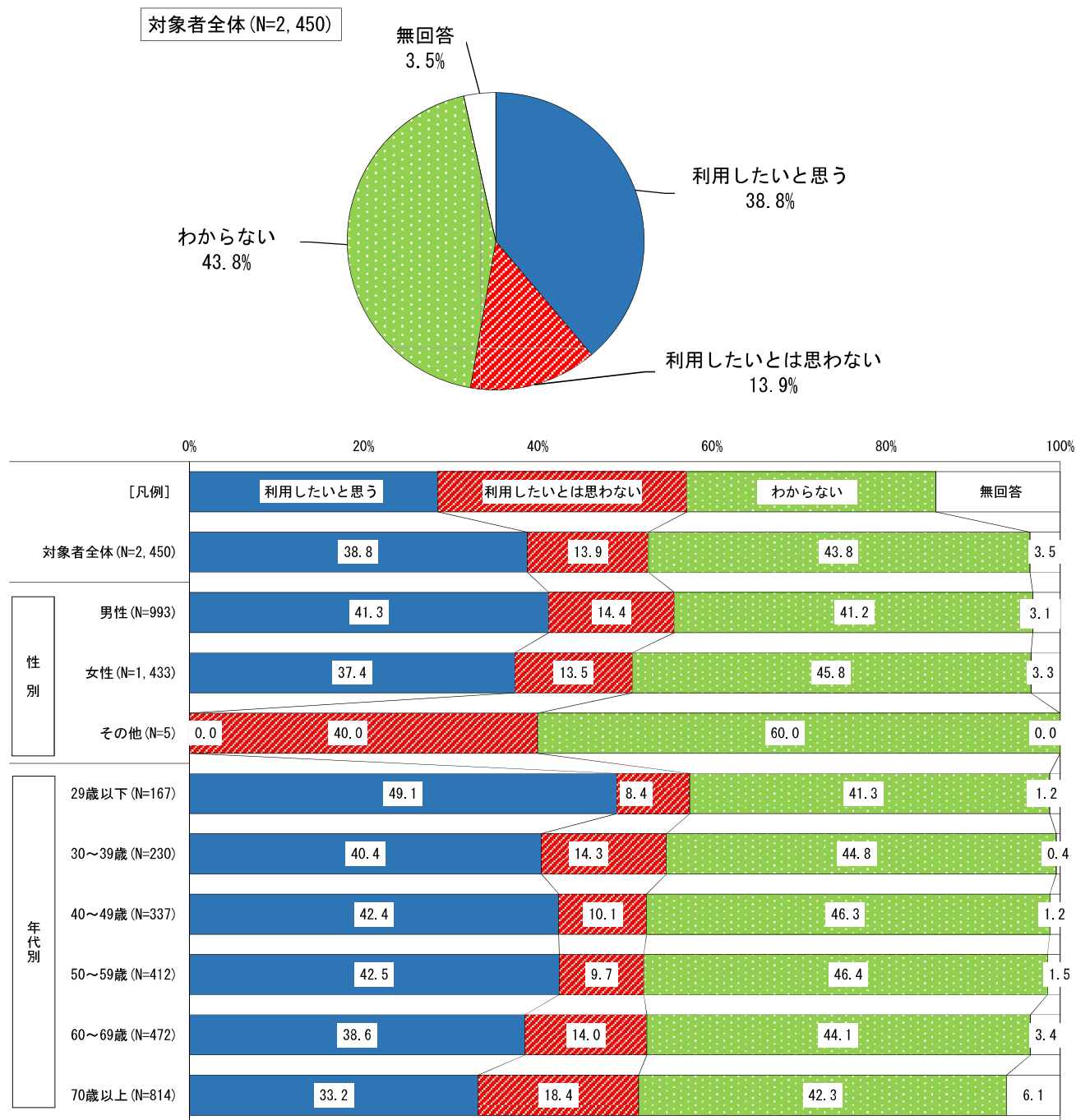
【性別】「制度を利用するための費用や、費用に対する助成制度について相談したい」、「自身に後見人が必要と考えたときに、後見人探しや手続きなどについて相談したい」、「後見人と医療・介護の関係者との協力について相談したい」は、女性が男性より5.5ポイント以上高くなっている。

【年代別】「自身が後見人になると考えたときに、活動内容や手続きなどについて相談したい」が40歳代(43.9%)で最も高く、最も低い70歳以上(16.3%)と比べると27.6ポイントの差となっている。

◇成年後見制度を利用したいと思うか否か

問20 あなたは、将来的にあなた自身の判断能力が不十分となった場合、成年後見制度を利用したいと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

成年後見制度を「利用したいと思う」人は38.8%



【全 体】成年後見制度を利用したいと思うかについては、「利用したいと思う」が38.8%、「利用したいとは思わない」が13.9%となっている。

【性 別】男女で大きな差は見られない。

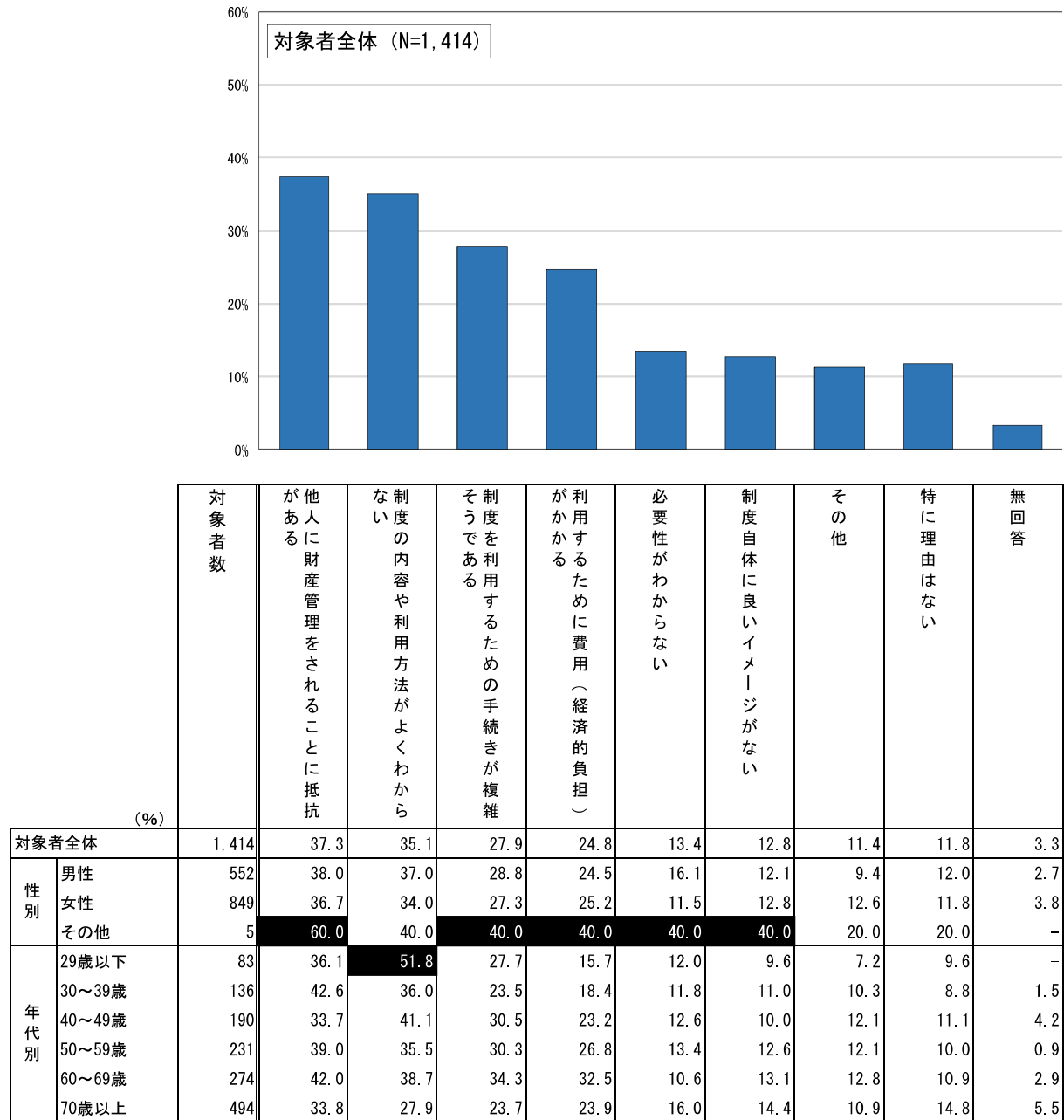
【年代別】「利用したいと思う」が29歳以下（49.1%）で最も高く、次いで50歳代（42.5%）、40歳代（42.4%）となっている。

◇成年後見制度を利用したいとは思わない、わからない理由

「問20で「2 利用したいとは思わない」または「3 わからない」と答えた方にお聞きします。」

問20-1 あなたが、「利用したいとは思わない」または「わからない」と答えた理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

成年後見制度を利用したいとは思わない、わからない理由は、「他人に財産管理をされることに抵抗がある」が37.3%



■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】成年後見制度を利用したいとは思わない、わからない理由は、「他人に財産管理をされることに抵抗がある」が37.3%、「制度の内容や利用方法がよくわからない」が35.1%、「制度を利用するための手続きが複雑そうである」が27.9%となっている。

【性 別】男女で大きな差は見られない。

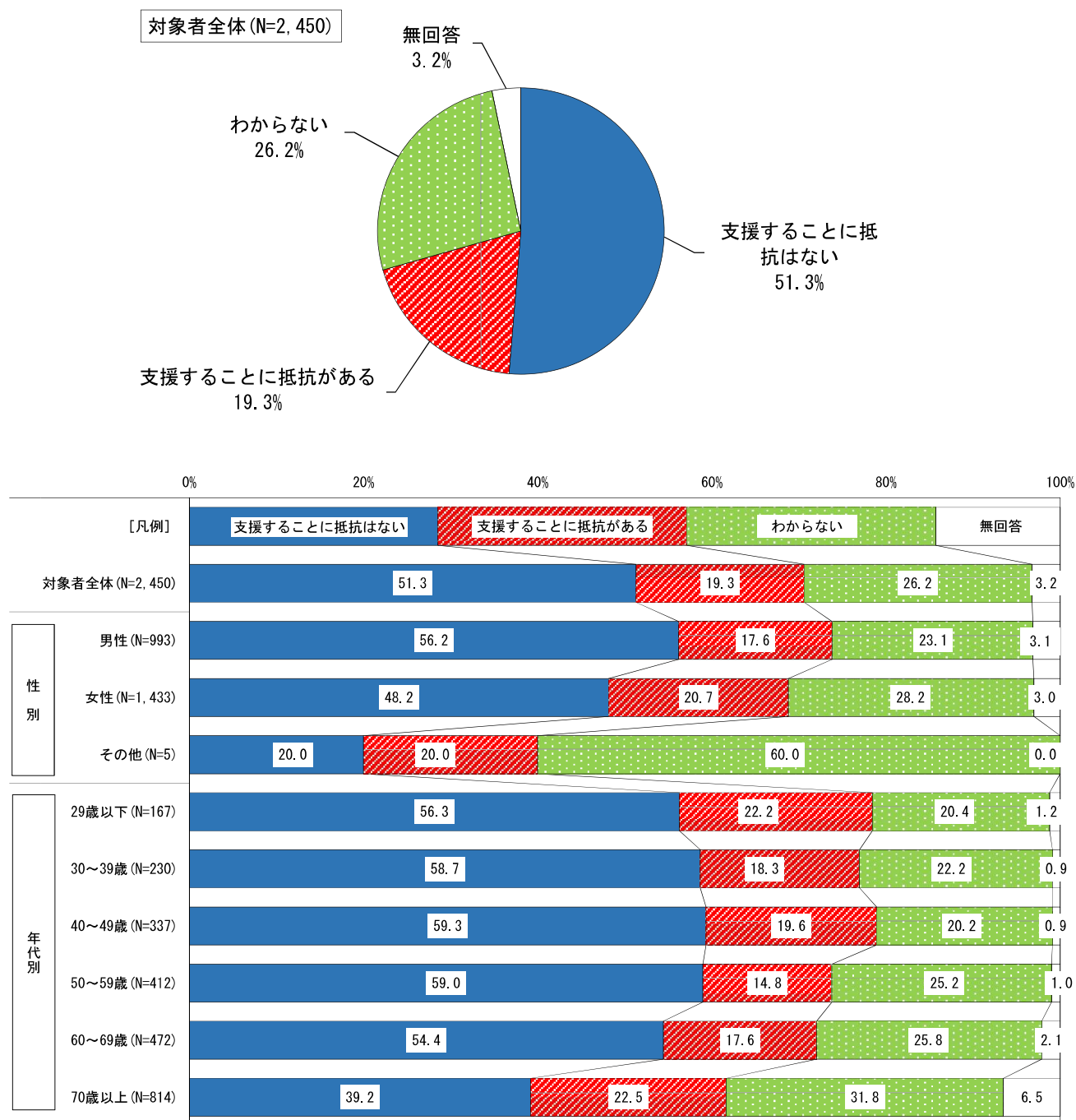
【年代別】「制度の内容や利用方法がよくわからない」が29歳以下（51.8%）と最も高く、最も低い70歳以上（27.9%）と比べると23.9ポイントの差となっている。

◇親族の後見人となって支援することに抵抗があるか否か

「皆さまにお聞きます。」

問2 1 あなたは、親族の判断能力が不十分となった場合、親族の後見人となって財産管理や契約行為の支援をするに抵抗はありますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

親族の後見人となって「支援することに抵抗はない」と回答した人は51.3%



【全 体】親族の後見人となって支援することに抵抗があるか否かは、「支援することに抵抗はない」が51.3%、「支援することに抵抗がある」が19.3%となっている。

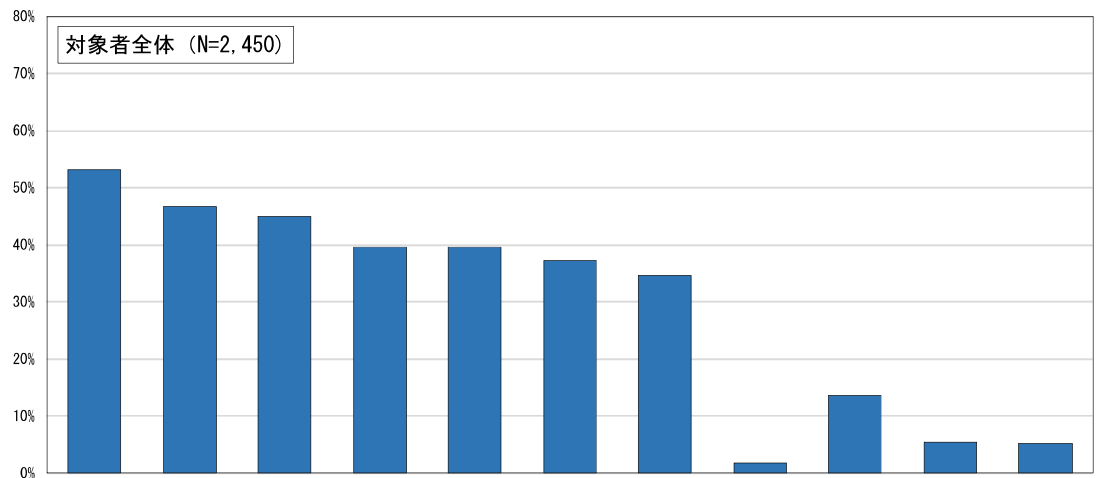
【性 別】「支援することに抵抗はない」は、男性が56.2%と、女性の48.2%より8.0ポイント高くなっている。

【年代別】「支援することに抵抗はない」が40歳代(59.3%)と最も高く、最も低い70歳以上(39.2%)と比べると20.1ポイントの差となっている。

◇親族に依頼された時、後見人として支援したいと思える環境

問 2 2 あなたが、親族から後見人になってほしいと依頼されたとき、どのような環境であれば、後見人として支援したいと思いますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

親族に依頼された時、後見人として支援したいと思える環境は、「後見人としての活動について相談できる窓口がある」が53.2%



	対象者数	(%)	後見人としての活動について相談できる窓口がある	制度を利用するための手続きなどの複雑さが解消される	後見人と医療・介護の関係者などが協力して、本人を支援する体制が整備されている	財産の横領などの不正が疑われないような仕組みがある	後見人としての活動で法的な問題が生じた場合、弁護士等による助言が得られる体制が整備されている	制度を利用するための費用に対する助成制度などが充実している	後見人としての活動で必要な知識を習得するための研修や説明会がある	その他	わからない	支援したいとは思わない	無回答
対象者全体	2,450		53.2	46.6	44.9	39.7	39.6	37.3	34.7	1.7	13.6	5.4	5.2
性別													
男性	993		51.4	44.5	41.7	38.3	38.4	36.2	36.2	1.1	14.0	4.7	4.3
女性	1,433		54.8	48.4	47.5	41.0	40.8	38.4	34.0	2.2	13.3	5.8	5.4
その他	5		20.0	40.0	20.0	40.0	20.0	20.0	-	-	20.0	20.0	20.0
年代別													
29歳以下	167		58.7	55.7	43.7	41.3	37.1	52.7	41.3	1.2	8.4	1.2	1.8
30～39歳	230		60.0	63.5	49.1	43.5	39.1	55.7	34.3	1.3	10.0	3.0	1.3
40～49歳	337		65.6	63.2	55.8	48.7	47.5	52.2	35.9	2.7	8.0	4.2	1.2
50～59歳	412		60.0	56.6	54.9	48.8	49.0	46.8	36.7	1.5	10.2	3.9	1.7
60～69歳	472		55.7	47.5	47.2	43.2	42.2	33.7	38.1	0.8	13.3	3.8	3.8
70歳以上	814		40.3	27.6	33.4	28.3	31.0	20.3	30.0	2.2	19.9	9.2	10.7

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】親族に依頼された時、後見人として支援したいと思える環境は、「後見人としての活動について相談できる窓口がある」が53.2%、「制度を利用するための手続きなどの複雑さが解消される」が46.6%、「後見人と医療・介護の関係者などが協力して、本人を支援する体制が整備されている」が44.9%となっている。

【性 別】「後見人と医療・介護の関係者などが協力して、本人を支援する体制が整備されている」は、女性が47.5%と、男性の41.7%より5.8ポイント高くなっている。

【年代別】「制度を利用するための手続きなどの複雑さが解消される」が30歳代(63.5%)と最も高く、最も低い70歳以上(27.6%)と比べると35.9ポイントの差となっている。